



子どもたちを守るために ～セーフティ教室報告～

5月8日(金)、光が丘警察署からスクールサポーターの方をお招きし、全校生徒および保護者の皆様を対象に「セーフティ教室」を開催いたしました。薬物乱用や SNS トラブル、近年若年層で急増している闇バイトなど、現代のリアルな危機について具体的かつ有意義なお話を伺うことができました。

第一部の講義では、違法薬物に限らず、市販薬であっても決められた用法を守らなければ乱用(オーバードーズ)となり、強い依存を生む危険性があるという重要な指摘がありました。また、「楽しんで儲かる仕事はない」という言葉とともに、安易な誘いに乗ることのリスクや闇バイトの危険性が語られました。

講義後の質疑応答では、3年生から「アルコールと薬物の違法性の違い」について鋭い質問が出るなど、生徒たちの真剣に学ぶ姿勢が見られました。

第二部の保護者の方との意見交換会においても、保護者の方からご質問が出され、有意義な時間となりました。その中で、警察の方から強く語られたのが「SNS トラブルにおけるご家庭の役割」です。警察からは、「現在起きているトラブルは、学校の指導だけでは対処しきれないのが実情。子どもにスマートフォン等を持たせた時点で、全ての責任は親がとるという意識をもってほしい」と、保護者の皆様へ向けた厳しいメッセージがありました。また、法律で保護者の努力義務とされているペアレンタルコントロール(フィルタリング)の確実な活用や、ご家庭でのルール確認についても、警察から強く求められました。

さらに、若者に流行している「ニコパフ(ニコチン入り電子タバコ)」や、若者が「シーシャ」と呼んでいる「ニコチンなし電子タバコ」についても注意喚起がありました。違法薬物への入り口にもなる危険なものであるにもかかわらず、シーシャについては量販店やインターネットで簡単に入手できるため、日頃からお子様の持ち物には十分ご留意いただくよう、警察からお話がありました。

一方で嬉しいご報告もありました。本校がある旭町地域は、保護者や地域の皆様の防犯意識が高いこと、日常の犬の散歩などもパトロールの役割を果たしていることなどから、トラブルが非常に少ないとのことでした。ただし、昼間は憩いの場である光が丘公園も、広大で死角が多いことから、夜間は危険なため立ち入らないほうがよいと注意喚起がありました。

その他、自転車のヘルメット着用の重要性や、若い世代を狙う投資詐欺の危険性(詐欺被害は高齢者だけではない!)、また「警察官に声をかけられたら絶対に逃げない(かえって大事になります)」といった具体的なアドバイスもいただきました。

子どもたちが安全で充実した学校生活を送り、将来、健全に社会へ羽ばたいていくためには、保護者、地域の皆様の力強いご協力が不可欠です。今後とも、学校とご家庭、地域がしっかりと手を携えて子どもたちを見守ってまいりましょう。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



【5月30日(土)の運動会に向けて】

これから運動会練習が本格的になります。体育着の準備や日々の体調管理など、ご家庭にはいつも以上にサポートをお願いすることとなりますが、よろしくお願いいたします。

また、近隣の皆様には練習時の音などでご迷惑をおかけすることもあると存じます。気になることがございましたら学校までご連絡ください。

引き続き、本校の教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。